

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

第 1 推薦	38 光村図書
第 2 推薦	2 東京書籍

小学校 書写 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
2 東書	観点 1	「気をつけることは何かな」のように、児童に投げかけ考えさせる表記で児童の目標を示している。
	観点 2	書写で学んだ知識・技能を生活に活用する応用教材として、「生活に広げよう」を設けている。模造紙やノートの書き方など、他教科や生活の中で扱う書式、内容を取り上げ、書写で身につけた技能を生かして文字を書いたり、地域の人たちと連携したりすることを想定している。
	観点 3	毛筆教材の学習後には、関連した内容の硬筆教材を設定し、毛筆で学習した原理・原則を硬筆に生かせる構成になっている。
	観点 4	黒の墨の手本と同じページに穂先の動きが分かる朱と白の混ざった墨で書いた字を掲載している。
	観点 5	「生活に広げよう」のページで、手紙・新聞・カード等の書き方を示している。
11 学図	観点 1	全学年に「学習に生かそう」を設け、「かんさつカードを書こう」（1 学年）「プログラムの書き方」（4 学年）など他教科への活用を図っている。 「筆ができるまで」「すみができるまで」など書写の歴史や伝統的な言語文化に関する内容を 3 年以上で扱っている。
	観点 2	身に付けた書写力を活用する実用場面の例を数多く示している。（「メッセージ」（5 学年）、「お知らせ」（6 学年）など）
	観点 3	全学年とも、実際に書き込むスペースがたくさんある。低学年の硬筆教材数が多い。
	観点 4	1 学年のひらがな練習では、4 つの部屋を意識させるよう、毎ページに 4 つの部屋をつけている。 保護者の方へという保護者を意識したつくりになっている。
	観点 5	「しりょう」コーナーを設けて、手紙・新聞など生活に活かす具体例を示している。
15 三省堂	観点 1	高学年では、まず硬筆で書き、毛筆で確かめるように、硬筆と毛筆を関連させた目標をあげている。巻末資料として「書写学習のヒント」という学習のまとめがある。

	観点 2	身に付けた書写力を生活に生かす具体例を全学年で示している。「絵手紙」(4 学年)、「メッセージ」(6 学年)など
	観点 3	全学年とも、硬筆記入欄のページ数が多い。
	観点 4	中学年では、単元のはじめに「ほ先はいつも上のはし」などキャッチフレーズのようなめあての書き方をしている。また穂先を青い時計の図の中に打ち、始筆の方向を示している。
	観点 5	「ひろげよう」コーナーを設けて、新聞やレポートの書き方等を示し書字場面の活用から学びを広げている。
17 教出	観点 1	文字や書写の歴史、伝統的な文化に関する内容を 1・2・3・4・6 学年に掲載している。
	観点 2	「はってん」として、各学年とも次学年で役立つ情報を掲載している。
	観点 3	学習内容と他教科との関連を示している。
	観点 4	3～6 学年の「はじめの学習」では、姿勢と筆の持ち方について同じ内容を掲載し、3・4 学年では墨液の扱い方や墨の持ち方とすり方について掲載している。特に、3 学年では「学習の進め方」として、硬筆と毛筆とを結びつけている。
	観点 5	「書いて伝えよう」では、書写で学習したことを生活や授業の中で生かしていくように例を示している。
38 光村	観点 1	各単元の冒頭で「筆使いを確かめよう」等、単元の目標を示し、続いて「～に気をつけて～しよう。」と、具体的な観点を示している。
	観点 2	国語教科書と連動して一体的に扱える教材を 2 学年以上 1 つずつ設定している。
	観点 3	横書き・原稿用紙の使い方等学習したことを生活に生かすように配列している。 硬筆記入欄のページが、増えてきて、多い。
	観点 4	インタビューでは、「はやく書く」新しい視点が加わっている。 筆使いについて、多色刷りのイラストを用いて、穂先の動きや筆圧も含めて示している。
	観点 5	全学年巻末に「資料」を置き、日常生活に役立つ書式を掲載している。
116 日文	観点 1	伝統的な言語文化に関する内容について、3 学年以上で扱い、ことわざ、俳句、和歌、古文、いろは歌、故事成語などを掲載している。
	観点 2	全学年に、「広がる学び」「もっと書こう」のコーナーを設け、書写で学習したことを生活や他の学習に広げる例や書写で学習したことを役立てる例を示している。(絵日記、名刺、手紙、報告文、新聞、ポスター、卒業作品など) 例がたくさん載っている。
	観点 3	総ページ数が多い。
	観点 4	第 3 学年「横画」の始筆、送筆、終筆の筆使いでは、穂先を意識付けるため、穂先を赤くして、筆跡を示している。
	観点 5	「広がる学び」「もっと書こう」のコーナーを設けて、日記・手紙・新聞などの書き方についてポイントを示している。